

昨年秋にATACが「品質管理検定（QC検定）の3, 4級対策」の研修講座を開催するとご案内したところ、数社から「会社に出向いて社員に研修してほしい」と要請があり、企業の実態に合ったプログラムで研修を始めました。これまでに実施した2社について概要をご紹介します。

（株）新幸機械製作所（大阪市）は、国内外で有力な段ボール印刷機の製造会社で、10月のキックオフ大会で、塚崎社長は「創業80年、世界に飛躍する会社をめざして全社員が品質管理を向上させる元年としたい」と宣言されました。

（株）タツタ合成工業所（奈良県御所市）は、プラスチック成形加工、化粧品容器等のキャップの製造会社です。田畑社長は「顧客に良い品質の製品をお届けして、一層の信頼を得るためにQC研修を実施し、QC体制を確立したい」と宣言さ

れ、社長自ら各部署の推進リーダーと共に受講されました。

研修は、両社とも約10名の受講生を対象に、会社の実状に即して5回の研修会を実施しています。研修内容は、QC検定をベースに、「儲かる会社、工場をめざして！」のスローガンの下、

- ①良品質の製品を各工程でどのようにして作るか
- ②QCの基礎知識からQC手法とその活用法
- ③クレーム・品質不良の要因解析と是正処置対策
- ④ISO9001マネジメントシステムの紹介（導入の狙いと認証取得までのスケジュール）などを内容としています。

今後は、具体的なテーマでQCサークル（小集団）活動に取り組む予定ですが、両社とも社員がQC検定合格にチャレンジする機運が高まっています。（多根井）